

北海道 TDM 研究会・第 45 回ワークショップ

今回、北海道 TDM 研究会では『種々新規経口抗凝固薬 (NOAC) の特徴とバイオマーカーを指標とした治療薬物モニタリング』と題して、臨床現場で急速に普及している NOAC をテーマとしたワークショップを企画いたしました。ディスカッションでは、事前に募集しました NOAC に関する Clinical Question について討論する時間も設けております。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時： 平成 28 年 8 月 27 日 (土) 14 時 45 分～17 時

会場： 北海道大学薬学部臨床薬学講義室 (札幌市北区北 12 条西 6 丁目)

話題提供 (14 時 45 分～15 時)

『薬剤師は免疫抑制・化学療法による B 型肝炎ウイルス再活性化の予防に貢献できる』
(北海道消化器科病院薬剤部 地主 隆文先生)

メインテーマ『種々新規経口抗凝固薬 (NOAC) の特徴と
バイオマーカーを指標とした治療薬物モニタリング』

座長： 北海道 TDM 研究会 副会長 小林 道也

講演 (15 時～16 時 10 分)

『直接経口抗凝固薬 (DOAC) のエッセンス

～DOAC 薬剤特性はモニタリング検査を必要とするか?～』

種々 DOAC の特性について解説するとともに、演者が取り組んでいる研究の成果を示しながらバイオマーカーを指標とした DOAC の治療薬物モニタリングの可能性について解説する。

ディスカッション (16 時 20 分～17 時)

『NOAC に関する Clinical Question』

事前に寄せられた NOAC に関する Clinical Question に対して専門医の立場から解説し、参加者の皆様と議論したいと考えている。

講師： 北海道医療大学 歯学部 生体機能・病態学系 内科学講座 教授

家子 正裕 先生

- ※ 日本薬剤師研修センター認定シール (1 単位) の配布を予定しております
- ※ 日本病院薬剤師会生涯認定制度単位 (2) 1 単位の認定対象です

主催：北海道 TDM 研究会、日本薬学会北海道支部
後援：北海道病院薬剤師会、札幌病院薬剤師会
参加費無料、事前申込不要

【問い合わせ先】

北海道医療大学病院 薬剤部 及川 孝司
TEL 011-778-7575
oikawa@hoku-iryō-u.ac.jp

Clinical Question は 7 月 22 日 (金) まで募集しております。
応募される方は、メールにて及川までご連絡ください。

〈案内図〉

